

# 各教育事務所の調査結果

## 菊池教育事務所

- 1 教科に関する調査結果と分析
  - (1) 小学校の成果と課題
  - (2) 中学校の成果と課題
- 2 質問紙調査結果と分析
  - (1) 児童・生徒質問紙調査結果
  - (2) 学校質問紙調査
  - (3) 質問紙調査に関する分析
- 3 今後の取組の重点事項

# 1 (1) 小学校の成果と課題

## 成果

### 国語 成果が見られた内容

- 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと。【関連問題 B2二】
- 目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むこと。【関連問題 B3二】

### 算数 成果が見られた内容

- 示された考えを解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述できること。【関連問題 B4(2)】
- $180^\circ$  や $360^\circ$  を基に分度器を用いて、 $180^\circ$  よりも大きい角の大きさを求めることができること。【関連問題 B5(2)】

### 理科 成果が見られた内容

- より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できること。【関連問題 2(3)】
- 乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用できること。【関連問題 3(1)】

## 課題

### 国語 課題が見られた内容

- 文の中における主語と述語の関係などに注意して、文を正しく書くこと。【関連問題 A5】
- 相手や場面に応じて適切に敬語を使うこと。【関連問題 A7】

### 算数 課題が見られた内容

- 単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解していること。【関連問題 A4(2)】
- メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できること。【関連問題 B3(1)】

### 理科 課題が見られた内容

- ろ過の適切な操作方法を身に付けていること。【関連問題 4(1)】
- 土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できること。【関連問題 2(2)】

# 1 (2) 中学校の成果と課題

## 成果

### 国語 成果が見られた内容

- 全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話すこと。【関連問題 B2三】
- 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くこと。【関連問題 B1三】

### 数学 成果が見られた内容

- ひし形は、線対称な図形であり、点対称な図形でもあることを理解していること。【関連問題 A4(1)】
- 事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを事象に即して解釈することができること。【関連問題 B3(1)】

### 理科 成果が見られた内容

- 炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」を指摘できること。【関連問題 4(2)】
- 探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見だし探究を深めようとしている／アルミニウムは水の温度変化に関係していることについての新たな問題を見いだすことができること。【関連問題 8(3)】

## 課題

### 国語 課題が見られた内容

- 伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書くこと。【関連問題 A2二】
- 文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えること。【関連問題 B1一】

### 数学 課題が見られた内容

- 一次関数の意味を理解していること。【関連問題 A12】
- 与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができること。【関連問題 B5(1)】

### 理科 課題が見られた内容

- シミュレーションの結果について考察した内容を検討して改善し、台風の進路を決める条件を指摘できること。【関連問題 3(3)】
- 化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明できること。【関連問題 4(3)】

## 2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
主 体的 ・ 対 話 的 で 深 い 学 び の 視 点 か ら	1. 5年生(中学2年生)までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	71.4	76.3	76.7	73.4	70.5	73.8
	2. 5年生(中学2年生)までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	56.2	59.0	61.0	49.0	46.2	53.8
	3. 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	74.7	77.3	77.7	77.0	75.7	76.3
規 範 意 識 ・ 自 己 有 用 感 等	4. 自分には、よいところがあると思いますか	78.4	84.1	84.0	71.6	78.1	78.8
	5. 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	81.5	85.3	85.3	81.5	80.6	82.2
	6. 将来の夢や目標を持っていますか	83.5	85.0	85.1	72.5	72.4	72.4
	7. 学校のきまりを守っていますか	87.8	90.3	89.5	95.5	94.8	95.1
	8. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.5	96.8	96.8	96.5	96.4	95.5
	9. 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	93.4	95.1	95.2	97.0	96.1	94.9

## 2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果②

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
学習習慣等	10.家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	60.5	64.6	67.6	44.7	47.7	52.1
	11.家で、学校の宿題をしていますか	96.1	96.4	97.1	89.4	90.7	91.6
	12.家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	56.2	61.9	62.6	43.1	50.4	55.2
	13.家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	65.8	73.2	69.9	65.2	69.7	71.3
生活習慣等	14.毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	74.7	76.5	77.0	75.0	73.6	74.2
	15.家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	75.0	78.6	80.5	76.4	76.8	76.0
地域や社会	16.今住んでいる地域の行事に参加していますか	69.2	66.0	62.7	34.0	40.7	45.6
	17.地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	48.8	50.0	49.9	35.2	36.1	38.7
	18.地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教してもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	36.7	40.1	41.6	24.0	23.0	25.5

## 2 (2) 学校質問紙調査結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	1. 調査対象学年の児童(生徒)は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができますか(新規)	93.3	88.1	83.6	83.3	75.4	80.8
	2. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	100	97.4	93.0	100	95.8	92.6
	3. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか(国語/算数・数学共通)	80.0	87.8	84.4	58.3	68.6	73.7
カリキュラム・マネジメントなど、学校運営に関する取組状況	4. 児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	96.7	97.1	94.9	100	94.6	93.1
	5. 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	100	97.4	94.4	100	96.3	91.8
	6. 学校として業務改善に取り組んでいますか(新規)	100	98.5	97.4	91.7	97.6	96.8
教職員の資質能力の向上	7. 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	100	99.4	96.7	81.7	93.3	90.9
	8. 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	100	97.6	95.1	83.3	87.3	85.4
個別に合った指導	9. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、算数・数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	50.0	42.3	35.2	25.0	42.2	28.6

## 2 (2) 学校質問紙調査結果②

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
規範意識、 自己有用感	10. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組をどの程度行いましたか	100	100	99.0	100	98.8	97.9
習家庭学	11. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／算数・数学共通）	96.7	91.5	91.6	100	90.4	87.1
組動等会地 取等の習活域 の取す活す社	12. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行いましたか	86.7	87.8	86.2	83.3	83.7	79.8
家庭や地域との連携	13. 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか（新規）	86.7	90.3	90.6	83.3	84.3	85.2
	14. 保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	100	99.5	97.7	100	94.6	90.4
	15. 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	90.0	80.2	72.8	58.3	69.9	60.7
	16. 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	100	97.7	95.4	91.7	90.3	88.6
調査等 の活用 全国学力・ 学習状況	17. 平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	100	98.9	97.6	100	95.8	96.1
	18. 平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか（学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む）	83.3	91.9	92.3	91.7	82.5	88.5

## 2 (3) 質問紙調査に関する分析

### 【児童・生徒質問紙調査結果から】

- ① 肯定的解答の数値が、全国（県）より高かったのは小学校が13/60項目で21.7% (9/60項目：15.0%)、中学校が17/56項目30.4% (36/56項目:64.3%)であり、全体的に児童・生徒の学習や生活に関する自己評価が低い。（複数回答の問いは除く。）
- ② 全国（県）の数値と比較して特に低い項目は、以下の通り。  
小学校 ○主体的・対話的で深い学びに関連する項目…(55)～(57) （全国比93.8%・県比95.2%）  
○家庭学習習慣に関連する項目…(10)～(15) （全国比92.9%・県比94.1%）  
○家庭・地域・社会とのつながりに関連する項目…(18)～(26) （全国比94.4%・県比95.3%）  
中学校 ○家庭学習習慣に関連する項目…(10)～(15) （全国比92.4%・県比96.4%）  
○家庭・地域・社会とのつながりに関連する項目…(18)～(26) （全国比91.0%・県比95.6%）
- ③ 小学校、中学校ともに家庭学習における課題が大きく、特に自ら計画を立てて勉強することや、家庭学習での予習・復習の習慣が身に付いていない傾向が明確である。また、地域や社会で起こっている問題や出来事への関心も高くない。一方で、主体的・対話的で深い学びに関しては、小学校では低いが中学校では高い傾向にあった。

### 【学校質問紙調査結果から】

- ① 全国（県）よりも自校の取組を肯定的に評価する割合が、小学校で57/72項目:79.2% (45/72項目:62.5%)、中学校46/68項目：67.6% (40/68項目：58.8%)となり、児童・生徒質問紙の評価と比較して高い。※小は(1)～(12)・(15),中は(1)～(11)・(14)・(48)は割合の項目数に入れていない。（肯定・否定を問わない問いのため）
- ② 全国（県）の数値と比較して特に低い項目の分野は、以下の通り。  
小学校 ○社会に開かれた教育課程に関連する項目…(52)～(62) （全国比93.6%・県比97.1%）  
中学校 ○調査対象学年の学習状況に関連する項目…(12)・(13) （全国比95.6%・県比102.6%）  
○数学の学習指導に関連する項目…(34)～(39) （全国比96.5%・県比96.5%）
- ③ 教育課程の編成における小中連携に課題がある。教育課程の接続や共通目標の設定については小中ともに7～8割程度の肯定的回答であり、全学調分析結果の共有では、小は高い(102.5%)が、中が低い(91.1%)という小中の食い違いも見られた。また、小学校では(56)地域社会への貢献に関する指導(88.5%)が低かった。中学校は、数学の習熟度別の少人数指導の実施状況(34・35)が低く(55.7%)、学力調査結果に反映していると考えられる。



### 3 今後の取組の重点事項

#### 重点事項①「授業改善（基礎的・基本的事項の徹底）」

- A問題及び県学力調査問題を授業，評価に生かすこと。  
（管理職のリーダーシップのもとで，みかじめまで含めた取組に）
- 学級・学年の実態を見取り、全学調・県学調の問題を見直して効果的な指導を行うこと。（県学調結果概要リーフレット活用）

#### 重点事項②「家庭学習習慣を身に付けさせる指導の強化」

- 全学調・県学調の過去問題の家庭学習での積極的活用。
- 予習・復習の必要性と有効性について，学校全体の共通理解のものの共通実践として，継続的に児童・生徒への指導及び保護者への啓発を行う。

#### 重点事項③「キャリア教育の視点をもった社会に開かれた教育課程の編成」

- 新学習指導要領全面実施に向けて，特に教科横断的な編成について，教育課程を見直していく。（特に「特別活動」や「総合的な学習の時間」）
- 地域の人材や教材を見直し活用する中で，「故郷に誇りを持つ」心の育成につながるような，キャリア教育の視点を各教科・領域の中に取り入れる。